

茶の里



発行日：令和5年5月11日
 発行者：さはら小学校長 相田 清美
 さはら小学校だより 第3号
 TEL 0295-78-0009

【学校は子どもが主役です】

ゴールデンウィークが終わり、静かだった学校に元気な子どもたちが帰ってきました。各教室では、「お休み中はね〜」と、先生や友達に話している場面がたくさん見られました。連休中、事故やケガもなく過ごせたことは保護者の皆様のご協力のおかげです。ありがとうございました。

学校では、新年度がスタートして様々な行事があり、子どもたちも教職員も忙しい毎日でしたが、これからじっくりと落ち着いて学習に取り組める時期になりました。子どもたちの思いや考えを大切にしながら、一人一人がいきいきする場面を数多く作って参ります。

【さはらっ子総会】

5月1日(月)にゲストティーチャーとして菊池富雄さん・仲野博文さんをお迎えし、第2回「さはらっ子総会」を実施しました。6年生の菊池社長を中心として「生産部」「販売広報部」「さはらJr.」の各部ごとに、今年度の「夢道場」の活動について考えを出し合いました。

＜今回の話し合いの目標＞
 低学年・・・今年度の夢道場で、自分たちにできることを考えよう。
 高学年・・・今年度の夢道場の部ごとの活動を提案し、決定しよう。



＜話し合いの内容＞

○さはらJr. (1～3年生)

野菜がよく育つように水やり、草取り、虫取り、石取り、家の人に育て方を聞く、売るときに大きな声で話したり説明したりする。

○生産部

- ・野菜を見に行った時に、土が乾いていたら水やりをする。
- ・3・4年生も一緒に活動する。
- ・野菜の余計な葉っぱを何かに使いたい。(肥料にするなど)
- ・野菜の量を増やす。

○販売広報部

- ・Gメールで他の学校にも宣伝する。
- ・大子町だけでなく他の地域にもチラシを配る。
- ・野菜をセットで売って、その中にレシピを入れる。
- ・うまく育たなかった野菜をプレゼントする。

○社長からの提案

- ・売上金を少し寄付する。
- ・売上金をみんなで使ってみよう。



さはらファミリー会社の運営

「さはらファミリー会社」での活動は今年で創設11年目となります。アドバイザーを始めとした地域の方々・児童・保護者・教職員がみんなで話し合い、共に作業をし、販売をする等の活動を通して、小規模校の特長を生かした地域との連携・SDGsへの意識の向上・キャリア教育・起業家精神の育成を目指しています。卒業生の中には、小学校での活動体験を生かして実際に自分で起業し、新たな農業に取り組んでいる方もいるそうです。子どもたちの一人一人の「いきいき」を引き出すため、今後ご協力をお願いいたします。

